

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	木造瓦葺き住宅建物火災の残火処理を行う際に起きた事例
3. 体験した事例の中心的要素	残火処理のため三連はしごを使用し、2階建物内の消火活動を行うため進入しようと窓に腰掛けた際、軒が隊員のすぐ横に落下。また、三連はしご上にいた隊員、確保していた隊員及び下で活動していた隊員付近に落下。状況にあつては、出火建物2階の屋根はすべて落下している状態で1階の屋根も所々に燃え抜けがあり、軒とその上に瓦が残っている状態であった。進入する際に瓦はすべて除去したものの軒にあつては、トビロで落とそうとするも落ちなかったため安全と判断し進入に至ったものである。その際、出火建物内及び軒は火が燦っている状態であった。
4. 体験した事例の原因・理由	出火建物内が燦っていたため、完全消火を行うために安全確認をし進入に至ったつもりであったが、早く消火しようとの心の焦りからか、軒を完全に落としてから進入するか別の場所からの進入に変更しなかったのが原因であると思います。出火建物2階の屋根は燃え抜け落ちている状態で、後に軒の落下は予測が可能であり、安易にまだ大丈夫であろうと心の油断が招いた事例であると思います。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年11月29日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：出火建物2階南西側窓(屋根)付近
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、飛来・落下ぶつにぶつかる、崩壊・倒壊(に巻き込まれる)、踏み抜き
7. 事例体験時の活動	火災 その他:残火処理
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	残火整理
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[31]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[11] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[27]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[27]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	指揮隊長、救助隊長、タンク小队(隊長、隊員)

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A、B	2階へ進入のため三連はしごを伸ばす	
経過2	当事者A	屋根の燃え抜けを確認	
経過3	当事者A	かぎ付きはしごを窓に掛ける	
経過4	当事者A	とび口で瓦を落とすが軒は落ちなかった	
経過5	当事者C	放水補助のため三連はしご上にて確保する	ホースの脱落防止をとる
経過6	当事者A	窓枠に足を駆け2階の床の強度を確認	
経過7	当事者A	当事者Aの横を軒が落下	窓枠に股いでいる状態
経過8	当事者C	当事者Cの前に軒が落下	三連はしご上
経過9	当事者B	当事者Bの前に軒が落下	三連はしご確保
経過10	その他の当事者	その他の当事者の前に軒が落下	地上で活動
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

軒が落下（瓦は除去済）

